



# NEWS ECO

シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

3月に入り、裏庭の梅も満開を迎え、早春の香りを漂わせています。暦を見ると3月6日は「二十四節気」の一つ「啓蟄」。「啓」には「ひらく」、「蟄」は「土中で冬ごもりしている虫」という意味があるそうで、大地の温もりを感じた、冬眠中の虫たちが穴から出て来る頃のことを「啓蟄」というのだそうです。

この時期はちょうど「スギ花粉」が飛散し始める時期と重なり、憂鬱な季節の始まりと感じる方も多い事でしょう。

「スギ花粉症」は「自然破壊による公害」と言われています。戦後、木材増産を目的に生産効率だけを優先し、広葉樹を伐採し、スギやヒノキの植林が盛んに行われました。その後、林業の衰退から、間伐が行われず、山は保水力を失い、植林から50年を経過したスギからは大量の「花粉」が飛散することとなりました。

生産効率を優先した「人間の都合」への地球・自然からの回答が「洪水・土砂崩れ・花粉症」だった、ということでしょうか。

虫が這い出てきてから2週間、21日は「春分」、各地から「サクラ」の便りが聞かれる季節となります。ちなみに、今年のサクラ開花予想は、静岡23日、名古屋25日、岐阜26日です。

春のうららかな一日を家族、友人と「花見の宴」はいかがでしょう。



## 《生物多様性の危機》 今月は、生物多様性と人間のかかわりについて考えてみましょう。生物多様性の奥深さと現状を知り、私たちの豊かさが生物多様性の危機と隣り合わせにあることを知って、ほしいと思います。(参考資料:WWFジャパン特集サイ

### まだまだ未知の多様性の世界

熱帯林の生物多様性の豊かさについて、このような話があります。1980年、中米パナマの熱帯雨林で自生する19本の樹木を調査したところ、1,200種もの甲虫が見つかりました。

しかも、その8割が、これまで存在が知られていなかった、新種だったのです。森全体に視野を広げてみたとき、そこには一体どれくらいの未知の生物が息づいているのか、想像することすら、容易ではありません。

### 毎年1,000~1万種が絶滅している!?

生物多様性の世界が、謎に満ちていることは、パナマの森での出来事から35年経った今も、変わることがありません。現在までに、科学的に認知され、名前がつけられている野生生物の数は、140万~180万種です。そして、予想される未知の生物を含めた種数は、実に1,000万種にのぼるといわれ、最大では1億種に届くのではないかという推定もあります。

そして毎年、0.01%~0.1%もの種が絶滅していると科学者は警告しています。仮に全生物の種数が1,000万種だとしても、毎年1,000種から1万種の生物が、この地球上から姿を消していることとなります。

もちろん、長い地球の歴史の中では、恐竜などをはじめとする、生物の大絶滅が幾度も起きてきました。しかし、現代に起きている種の絶滅、生物多様性の喪失が、過去の大絶滅と決定的に違うのは、生物が絶滅するスピードの圧倒的速さが、人間が関与しない状態で生物が絶滅する場合の、1,000倍から1万倍になるといわれていることです。

### 危機にさらされる地球の生物多様性

生物の絶滅が急激なものとなったのは、20世紀以降の100年間です。一体何が、生物多様性を脅かしているのでしょうか。

その要因は、

- 1. 自然環境の破壊と汚染
- 2. 資源の過剰な利用
- 3. 外来生物
- 4. 気候変動(温暖化)

の4つを挙げることができ、人間の活動が大きく関わっていることは明らかです。

さまざまな資源をもたらす生態系は、非常に微妙な生命のバランスで成り立っています。このため、一度壊してしまうと、人の力では完全な形に戻すことができません。WWFが「Living Planet Report(生きている地球レポート)」の中で試算した結果では、過去30年の間に、世界の自然の豊かさは3割近く失われ、一方で、資源などの消費や環境への圧力は3割増加しました。

この状況がつづけば、自然環境と生物多様性は「現代人が思う豊かさ」とともに失われることになるでしょう。

## 《ISO内部監査》 監査は適合性だけでなく、有効性の観点からの監査をおこないます。以下に、今回の日程と監査重点項目を示します

被監査部門署	監査実施日	チームリーダー	監査員
静岡支店	4月10日(金)	澤木 高	李 永 平
浜松支店	4月10日(金)	脇田 文樹	吉 田 恵
岐阜支店	3月24日(火)	安藤 秀治	吉津 敏幸
三河営業所	3月24日(火)	林 欣 也	北川 美由紀
管理責任者	3月23日(月)	金丸 康仁	羽柴 孝行
技術部	3月23日(月)	林 昌 弘	高橋 智一
営業企画部	3月23日(月)	北川 克巳	杉山 貴英
総務部・管理部	3月23日(月)	西川 文範	甲 和 之
日特小牧	3月24日(火)	巽 芳 明	野田 裕二

### 《監査重点項目》

■品質監査(ISO9001)  
「業績アップ(プロセスアプローチの強化)」

※活動内容の精査並びに活動の成果、目標達成に向けた行動に業績アップが直結しているか。

■環境監査(ISO14001)  
「業務の効率化改善(環境負荷低減の着眼点)」

※業務の効率化による環境負荷の改善事例について幅広く内部監査を行う。

上記の日程で内部監査をおこないます。監査員・各サイト関係者のご協力をお願いします。